



できることから
はじめよう！
環境にいいこと
ひとつずつ

城陽エコパートナー通信

Vol.74

発行日：令和4年(2022年)7月20日
会員数：306人(令和4年6月30日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax (66)6828

2022年度総会を開催しました！

6月25日、2022年度総会を会員31名の出席で開催しました。会長より、昨年城陽市長が「ゼロカーボンシティ宣言」をされ、市・市民・市民団体・事業者等多様な主体との連携が謳われ、その活動の中核に当会議が据えられており、改めて役割の重さを感じています。コロナ禍を契機に新しい生活様式を迎えているが、環境活動においては変わることなく、地道な啓発を続けることが必須である。これからもみなさんに、環境への意識をより高めていただけるようなイベントの開催に取り組んでいくと挨拶がありました。引き続き、

総会議事に入り、まず2021年度事業報告・2021年度収支決算が一括で上程、報告され審議の結果、満場一致でご承認いただき、次に2022年度事業計画案・2022年度収支予算案が一括で上程され、審議の結果、満場一致でご承認いただきました。新たに1名の運営委員の就任が承認され、運営委員は24名となりました。これを以て総会は終了しました。終了後出席者全員で記念撮影をしました。



第2回自然観察会(今池川生きもの採集観察会)を開催しました！

文:中川委員



7月2日、実に4年ぶりとなる今池川自然観察会が開催され、参加者は33名でした。

身近な川にもたくさんの生き物たちがいて、希少種や外来生物の存在を知ることによって、自ら水辺環境の保全や保護を考える機会となることを目的としたP S会議の夏恒例の観察会です。

生き物たちを捕獲・採集しての川の観察会では、もう十数年も前から開催しており、これまでも貴重な発見がたくさんありました。城陽市のお宝生物のダルマガエルやカナヘビなどの希少淡水魚にモクズガニの記録もあります。前回はグッピーを確認し、29番目の生息魚として掲載しました。

久しい観察会では、生息環境の悪化で決して好条件ではなかったのですが、特筆すべき記録ラッシュとなりました。先ず、前日仕掛けた罠にスッポンがかり、今や全国的な希少種・イシガメ捕獲も、アライグマの被害で前肢がありませんでした。アカミガメが産卵しているのをみんなで観察し、カメの卵を捕食するシマヘビの話に添えて現物も出てきました。事前に投網で捕獲したホンモロコにカマツカやニゴイなどの淡水魚たちを披露し、定番のメダカやドジョウにドンコやナマズが捕れるふるさとの川の魅力を伝えることができました。

水辺のオアシスが次代に引き継がれますように。

■ 2021年度収支決算(2021年4月1日～2022年3月31日)

1. 総括表

単位：円

項目	決算額	備考
総収入	892,921	
総支出	624,994	
収支差額	267,927	2022年度(令和4年度)へ繰越



2. 収入

単位：円

項目	予算額①	決算額②	差額②-①	備考
(1)会費	320,000	280,000	△ 40,000	賛助会費 14会員×@20,000
(2)募金・寄付	4,800	5,600	800	パートナーシップ募金5,600円
(3)参加費収入	42,700	800	△ 41,900	自然学習会 標本のつくり方教室参加費@100×8人
(4)補助金	300,000	300,000	0	「城陽市活動支援補助金」300,000円
(5)雑収入	510	1,103	593	普通預金利息、生き物ハンドブックDVD販売代
(6)前年度繰越金	305,418	305,418	0	
合計	973,428	892,921	△ 80,507	

3. 支出

単位：円

項目	予算額①	流用額②	流用後予算額③	決算額④	差額④-③	備考
(1)事業費	770,350	0	770,350	452,611	△ 317,739	ゴーヤの育成消耗品、花いっぱい運動に関する用具代・苗・菜種代、畑の肥料代、温室内消耗品・備品・修繕費用、展示資料・啓発用配布チラシ印刷プリンターインク代、生きものガイドブック印刷代、グリーンカーテンフォトコンテスト写真用紙・賞品代、マイボトル購入費など
(2)広報費	58,400	0	58,400	53,582	△ 4,818	会報郵送(年4回)
(3)調査研究費	5,000	0	5,000	0	△ 5,000	支出なし
(4)事務費	126,000	0	126,000	118,801	△ 7,199	賛助会費・印刷代等振込手数料、通信切手代、クラフト封筒代、事務消耗品費など
(5)予備費	13,678	0	13,678	0	△ 13,678	
合計	973,428	0	973,428	624,994	△ 348,434	

■ 2022年度事業計画

■ 役員・運営委員の紹介

環境ビジョン	2022年度の取組内容
パートナーシップ	総会及び環境ミニフォーラムの開催 城陽市環境フォーラムの開催 第2次環境基本計画の取組み 会報(エコパートナー通信)の発行(年4回) ゼロカーボンシティ実現に向けた取組み
生活	身近な河川の清掃活動の実施 グリーンカーテンの普及・啓発 花いっぱい運動の実施
自然	身近な河川と里山で見られる動植物の観察会の開催(年4回) 城陽生き物ガイドブック(キノコ編)の作成 自然学習会の実施(年1回) 竹林の整備(竹炭づくり) どんぐりプロジェクト(市との協働)
地球環境	省エネ診断の実施 カーボンニュートラル絵画展(市との協働)の開催 エコチャレQの作製
循環	ごみの分別・減量化の啓発 「Joyo Eco Choice!」の活用 マイボトルの推進 環境学習会の開催 城陽市のフードドライブ事業協力 環境美化の推進

会長	大野 和宣
副会長	芦原 昇
監事	竹内 康
運営委員	浅田 和利
〃	一瀬 裕子
〃	井手 邦彦
〃	上野 さや子
〃	岡井 昭憲
〃	岡田 丞市
〃	奥田 禎爾
〃	小林 駿
〃	小林 順寛
〃	阪部 晃啓
〃	堤 靖雄
〃	中川 宗孝
〃	中島 和代
〃	新川 達郎
〃	本城 隆志
〃	水野 尚之
〃	森島 孝太
〃	山岡 正信
〃	米田 由紀子
〃	山村 元秀
〃	崎嶋 毅昇

- 運営委員会の開催 毎月第1木曜日
- 部会の開催 毎月第3木曜日
- 本年度の事業計画は、今後の新型コロナウイルス感染症にかかる事態の推移を判断して実施します。

(2)

(順不同)

■ 2022年度収支予算(2022年4月1日～2023年3月31日)

【収入の部】

単位：円

項目	予算額	前年度予算額	対前年度比較	摘要
(1)会費	280,000	320,000	△ 40,000	賛助会費 @20,000×14会員=280,000円
(2)募金・寄付	4,800	4,800	0	募金 @400×12月=4,800円
(3)参加費収入	0	42,700	△ 42,700	
(4)補助金	300,000	300,000	0	城陽市(300,000円)
(5)雑収入	510	510	0	普通預金利息、即売等の収益金
(6)前年度繰越額	267,927	305,418	△ 37,491	
収入合計(A)	853,237	973,428	△ 120,191	

【支出の部】

単位：円

項目	予算額	前年度予算額	対前年度比較	摘要
(1)事業費	659,200	770,350	△ 111,150	自然観察会講師謝礼、花いっぱい運動活動費、生き物ガイドブック作成費、省エネ診断・開催イベントのインセンティブ代、カーボンニュートラル絵画展の賞品代、グリーンカーテンフォトコンテスト賞品代、エコチャレQ作製費他、学習会での使用教材費、事業開催にかかる保険代、消耗品費など
(2)広報費	58,400	58,400	0	会報郵送料 @73×200会員×4回=58,400円
(3)調査研究費	3,000	5,000	△ 2,000	参考資料、書籍等購入代
(4)事務費	119,000	126,000	△ 7,000	切手代、会費振込手数料、その他振込手数料、慶弔費、事務消耗品、封筒代など
(5)予備費	13,637	13,678	△ 41	
支出合計(B)	853,237	973,428	△ 120,191	
収支差額(A) - (B)	0	0	0	

大学生と一緒に「デイリーエコチョイスJOYO」を作製中です！

文：芦原副会長



龍谷大学生との協働事業が始まりました。年の差、半世紀、まさにパートナーシップの原点となる、年齢が離れたメンバーとの活動です。

市民への啓発として環境クイズ的なモノを学生と協働で作製する企画を、龍谷大学の28人のゼミ生に対してプレゼンをし、一緒にやってみてほしい！と、積極的に手を挙げてくれた4人の学生は、環境に対しても十分な知識を持たれております。

最初は、少しぎこちない雰囲気を感じましたが、2回3回と顔をあわせるうちに、会話のキャッチボールもまるやかになった気がします。

予測もしなかったコロナ問題で、少し活動に足止めがかかり、その意味からも今回の学生とのコラボは、新規まき直し（ニューディール）の目玉となる活動に違いないと思います。

今年の城陽市環境フォーラムでは、協働でつくりあげていく成果にプラスし、4人の学生さんがここで体験した「城陽環境パートナーシップ会議との時間」を今後の人生で語り継いでくれるなら、成果は倍増すると思います。

イベント INFORMATION



キノコの自然観察会を開催します！

「城陽生き物ガイドブック～キノコ編～」を片手に観察会を開催します。

鴻巣山の久田晴生氏に解説いただきます。奥深い森の中を歩きます。

このイベントは、新型コロナウイルス感染症
拡大防止のため中止となりました

- ◇開催日時：9月16日(金) 10:00～12:00(雨天は中止)
 - ◇集合・解散場所：プラムイン城陽前 入口(池のところ)
 - ◇観察場所：鴻巣山
 - ◇対象：市内在住、在学、在勤の人(小学生以下は保護者同伴)
 - ◇参加費：無料
 - ◇講師：久田晴生氏(城陽生きもの調査隊)
 - ◇持ち物：水筒・タオル・帽子(山に入るので長袖・長ズボンでご参加ください)
 - ◇申・問：城陽環境パートナーシップ会議事務局へ直接か電話(56-4061)
- ※9月16日(金)より受付開始



環境ミニフォーラムを開催しました！ 日時:6月25日(土)13時35分～ 場所:城陽市立福祉センター

今回の環境ミニフォーラムは、各部会の活動報告をおこないました。はじめに、循環・地球環境部会より「ゼロカーボンに向けて」をテーマに、奥田禎爾運営委員より、「ゼロカーボンとは何か」に始まり、地球温暖化によりもたらされた異常気象による災害など、わかりやすい説明をされました。最後に、ゼロカーボンに向けて、生活の身近なところから、できることから始めることが大切と話されました。



次に、生活・自然部会より「鳥類調査最前線」をテーマに、中川宗孝運営委員と福井惇一会員より、希少猛禽類「チョウゲンボウ」について報告がありました。チョウゲンボウが繁殖をしているということは、エサが豊富にあるということ。このように城陽には、猛禽類が育つ環境があり、その環境を今後守っていきたくと締めくくりました。



チョウゲンボウ
幼鳥

日本観光ゴルフ株式会社
城陽カントリー倶楽部
〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山1-46

株式会社 玉井開発
〒610-0031 京都府宇治市広野町西裏30番地1
TEL 0774-44-3351(代) FAX 0774-41-7007

株式会社 ミズホ
砥石で、未来を磨いてゆく
〒610-0121 京都府城陽市寺田袋尻82番地

東城陽ゴルフ倶楽部
〒610-0113 京都府城陽市寺田奥山1-48
TEL 0774-52-1161

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光 ※令和4年6月末現在(五十音順・敬称略)